

～ 真摯な態度、熱心さを目のあたりにしまして ～

内堀 修一

知人の紹介でありあまり深く考えずにガイド養成講座受講申込書を提出、暇つぶし程度の感覚でした。しかし講師の方々や先輩ガイド達の真摯な態度、熱心さを目のあたりにして中途半端な気持ちでは臨めないと感じが変わっていききました。そして実地ガイド講習を体験、そこには今まで会社生活では味わえなかった新鮮な感覚があり全く今までとは違う世界でした。その反面、初めて接する方に対して如何に分かりやすい説明、印象深い体験を与えられるか、観光客に「来てよかった、ガイド依頼してよかった」そう思ってもらえるか、そんなに簡単ではない事も分かりました。その辺は先輩のガイドさん達はかなり努力をしておられると思います。「街の人に話を聞く・足で確認する・五感で街を捉える」こういったことが出来て初めて結果に繋がるのかも知れません。自分にガイドが出来るのか、観光に来ていただいた方に不快感を与えはしないか不安要素はいろいろあります。お客様の為、街の為、それも大切ですが何より自分の成長のためにこの活動を続けていけたらと思っています。そしてボランティアガイドの活動を通して今まで長かった会社生活の垢を落とし新しい自分を作っていけたらと思っています。



近江八幡の代表として、観光大使として・・・などと使命感などありません。でも八幡に来てよかった。ガイドをお願いして良かった。と少しでも思っただけのよう「話し手ヨシ、聴き手ヨシ、世間ヨシ！」この精神で皆さんと一緒に楽しもうと思っています。

～ コロナウイルスの影響を受けて ～

園田 萌音

私は現在大学2年生ですが、今年に入ってコロナウイルスの影響により大学に通えなくなり、家でオンライン授業を受ける日々へと生活が一変しました。そんな中、授業の気分転換に八幡堀を歩いてみたり古民家を改装したカフェに寄ってみたりする中で、近江八幡の歴史ある景色に癒され、近江八幡の良さに触れ、近江八幡のことをもっと知りたい!と思うようになりました。養成講座を修了した今、近江八幡のことをより深く知ることができて勉強になり満足している一方で、自分に皆さんのようなすばらしいガイドが出来るか正直不安ではありますが、昨年まで大学のサークル活動で京都の寺社を案内していたことあるのでその経験も活かしつつ、最近では若者の観光客も増えているということで大学生や若者の目線でガイドを行うなど自分にしかできないガイドをしていきたいなと思っております。



これから様々な経験を積んで頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

～ 様々な経験を積み頑張っていきたい ～

中塚 節治

転勤で、兵庫から近江八幡移り住んで約25年になります。定年退職を機に広報誌で案内のあった「近江八幡観光ボランティアガイド養成講座」を知り、申し込みました。

以前から、歴史に興味ありましたが近江八幡の歴史文化など良く知らず、機会があれば学びたいと思っていました。また県外の友人知人に近江八幡の観光地を案内し、歴史、文化も含めて、紹介出来れば、楽しんでもらえると思っていました。養成講座では、例年20,000人を越えるお客様をご案内していると聞き正直、ガイドとして務まるかとの思いもありますが、先輩ガイドの皆様から学ばせて頂きながら、お客様に楽しんでもらう様、おもてなしの心でご案内出来ればと思います。



尚、定年後も、フルタイムで継続勤務しておりますので土、日中心の活動になりますが宜しくお願い致します。